

第2回2日目 横浜市金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年3月31日(月) 午前9時00分～午後0時30分
開催場所	金沢区役所3階1号会議室
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 叶谷 由佳 (横浜市立大学医学部看護学科老年看護学教授)</p> <p>委員 相川 元治 (六浦西地区町内会連合会会長)</p> <p>赤木 葉子 (東京地方税理士会横浜南支部税理士)</p> <p>魚谷 晶子 (金沢区主任児童委員連絡会代表)</p> <p>寺木 好子 (金沢区民生委員児童委員協議会会長)</p> <p>平野 龍雄 (釜利谷地区連合町内会会長)</p> <p>山岸 満里子 (障害児者いきいきネット代表)</p> <p>【事務局】</p> <p>金沢区福祉保健センター担当部長 中山 陽子</p> <p>金沢区福祉保健課長 平 佳子</p> <p>金沢区福祉保健課事業企画担当係長 和泉 大</p> <p>金沢区福祉保健課事業企画担当 黒田 大介、松崎 応介</p> <p>金沢区高齢・障害支援課長 富岡 幸世</p>
欠席者	あり(小沼 春日(関東学院大学社会学部現代社会学科教授))
開催形態	一部非公開(応募団体の面接審査、指定管理者の候補者(以下、「指定候補者」という。)及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者(以下「次点候補者」という。)の選定に関する審議について非公開。なお応募団体の面接及び質疑応答は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開)(傍聴人：なし)
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 審査方法等について 2 応募団体の財務状況について 3 面接審査 <ol style="list-style-type: none"> (1) 横浜市泥亀地域ケアプラザ (応募団体 E, F) (2) 横浜市西金沢地域ケアプラザ (応募団体 G) (3) 横浜市並木地域ケアプラザ (応募団体 H) 4 指定候補者の決定 5 指定候補者の審査講評 6 今後のスケジュール
決定事項	<p>指定管理者の候補者及び次点候補者として、次のとおり、横浜市金沢区長に報告することとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市泥亀地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 次点候補者：医療法人社団景翠会

	<p>2 横浜市西金沢地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人昴 次点候補者：なし</p> <p>3 横浜市並木地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 次点候補者：なし</p>
議 事	<p><u>1 審査方法等について</u> 事務局から、公募の結果4団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の3点について確認、1点について説明をした。</p> <p>○委員会の公開・非公開 応募団体審査、指定候補者及び次点候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第1回委員会で審議済み)</p> <p>※なお、応募団体の面接(プレゼンテーション及びヒアリング)は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開。</p> <p>○面接審査の進め方及び質問項目の確認 (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・1施設に対して1団体のみのお応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 ・1施設に対して複数の応募がある施設についても、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング時の質問項目を確認した。 <p>○応募団体の資格要件等について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。 ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 <p>○本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況及び前期実績報告書について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各応募団体について説明した。 <p><u>2 応募団体の財務状況について</u> 事務局及び赤木委員より資料4に沿って説明をした。</p> <p><u>3 面接審査</u> (1) 横浜市泥亀地域ケアプラザ</p>

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(ア) 社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

(委員)

民生委員・児童委員不在のエリアについてどのように支えているのか。

(団体)

見守りのためなどに、当該エリアから御相談いただいた際は地域ケアプラザの保健師や主任ケアマネジャーが訪問をして、自治会町内会長に繋ぐほか、地域で見守る方法を地域ケア会議でも話し合っている。自治会町内会の加入率が高く、回覧板がしっかり回っているエリアは回覧板を活用したり、見守りのチェックシートを新たに作成することを検討したりしている。

(委員)

常勤、非常勤職員の採用時に理念が記載されている約束（エンゲージメント）について誓約してもらった上で採用しているとのことだが、サインは取っているか。

(団体)

理解を得た上で取っている。

(委員)

権利擁護事業にも重なると思うが、虐待や成年後見の相談が増えている背景を踏まえて対応策は考えているか。

(団体)

権利擁護事業については区役所にて作成しているエンディングノートの配布率がとても高く、アウトリーチ型の支援ができればと思っている。そのほかにも権利擁護の講座を開いたり、「もしも手帳」の配布や説明を行ったりしている。虐待については、居宅介護の事業者や民生委員・児童委員と主任ケアマネジャーが情報共有を行い、適切な支援に繋げている。

(委員)

チームオレンジについて、小学校でも行っているのか。

(団体)

隣の八景小学校では認知症サポーター養成講座は行った。

(委員)

実際、小学生が認知症の方を助けたような事例はあるか。

(団体)

それはないが、認知症サポーター養成講座を受けた後、学級新聞に自分たちには何ができるのかを考え続けた日だった等まとめられていた。

(委員)

合築施設に災害時の対応について、どのようなシミュレーションや打ち合わせ

をしているのか。

(団体)

年1回、5つの団体と避難訓練を行っている。また業務継続計画（BCP）を深掘りし更なる検討を重ねて、より地域のみなさまのためになるよう努めていきたい。

(イ) 医療法人社団景翠会

(委員)

緊急時における職員の連絡網はどうなっているか。

(団体)

各事業所内にてSNSの活用を予定している。

(委員)

福祉避難所として何人の収容を予定しているか。また1人当たり何平米で考えているか。

(団体)

どちらもまだ決めていない。

(委員)

公正・中立性の確保について、どこかで明文化しているのか。

(団体)

契約書等に記載している。

(委員)

地域包括支援センター運営事業における総合相談支援事業について、若い世代の交流を踏まえたデジタルテクノロジーを駆使した展開を計画しているとあったが、地域ケアプラザの運営ではどのような計画があるか。

(団体)

特定のグループを作成し、その中でブログを作成するなど、忙しい子育て世代にも見てもらえるような工夫を考えている。

(委員)

介護予防ケアマネジメントにおける要支援者増加を抑制する取組について、具体的な取組を教えてほしい。

(団体)

各事業所での情報がスムーズに共有されていなかったが、私たちは医療と介護の情報をスムーズに共有していきたいと考えている。例えば病院での検診データに基づいて適切なケアに繋げる、といったことを考えている。

(委員)

学校に出向いて色々な講座を開いているとのことだったが、子育て世代向けの事業は何か考えているか。

(団体)

区役所と連携しながら子どもや障害者の方向けの事業を考えていきたい。

(委員)

所長予定者の人材について、リーダーシップの経験有無はどうか。

(団体)

管理者として8年施設管理を行っていて、障害者支援や相談支援の資格もあるので地域の方々と関係性を構築できる。

(委員)

医療、福祉の分野における職員定着は難しいと思うが、工夫した点はあるか。

(団体)

介護にもやはり医療的な知識が求められるため、医療的な専門知識を学ぶこともあり定着している。

(委員)

パーソナルヘルスレコードの活用について、もう少し具体的に教えて欲しい。

(団体)

いわゆる申し送りのようなことを撤廃していきたいと考えている。利用者と職員の接点、関わり合いを大切にしていきたい。

(委員)

パーソナルヘルスレコードのような情報のセキュリティはどのように考えているか。

(団体)

現在事業者とより安全な方法を相談しながら開発している。

(2) 横浜市西金沢地域ケアプラザ

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員)

団体の行動基準について、現場ではどのように掲示されているか。

(団体)

まずは研修で示している。また毎朝思いやりに関する標語が載っているカレンダーがあり、それに対してスピーチを行っている。

(委員)

保守管理の基準について、明文化しているのか。

(団体)

年間計画を定め、書類に残しており5年間保存している。

(委員)

地域に密着した地域資源を活用した買い物支援について、もう少し具体的に教えてほしい。

(団体)

単なる買い物支援だけでなく、繋がりの中にもなっていた移動販売車が廃止されたのは我々としても非常に残念だった。まだ具体的に話を進められていないが、昔スーパーマーケットがあった通りにある商店などに参加してもらうことなど考えている。

(委員)

「だれでもカレー」について、コロナ禍前は中学生もスタッフとして参加していたが、最近は食べに来るだけになっている。コロナ禍前のように、地域の宝である小学生や中学生も巻き込んでやってもらえるような取組は考えていないのか。

(団体)

今回も小中学生にボランティアの声かけをしていたが、学校のテストや部活動など予定が合わなかった。もっと賑やかになるように、日程調整から学校と連携をしていくことが必要だと考えている。

(委員)

見守りホルダーについて、登録する情報はどのようなものか。

(団体)

名前や緊急連絡先など最低限に絞っている。

(委員)

災害時対応記入ボードは良い取組だと思っているが、災害時における職員の参集方法についてはどう考えているか。

(団体)

入職時に自宅から一番近い施設を特定してある。また職員の安否確認としてショートメールの活用を予定している。

(委員)

キャリアに応じた人材育成について、どのように考えているか。

(団体)

中途入社した職員については今までの経験を考慮し、階層的に研修を行うようにしている。

(委員)

登録するボランティアを増やすためにどのようなことを考えているのか。

(団体)

多世代に広げていきたいので、様々な事業を通して若い世代にも声かけをしていきたいと思っている。

(3) 横浜市並木地域ケアプラザ

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員)

放課後フリースペース MEDAKA はもう行っているのか。誰でも来ていいのか。

(団体)

小学生向けに令和6年度10月から開始した。共働き世帯が多いから地域の方々が見守れる居場所があると良いということで開始した。

(委員)

放課後フリースペース MEDAKA のエリアは決められているか

(団体)

特に決めはないが、預かる時間に制限があるので物理的に並木第一地区やシーサイド地内の子どもが対象になってくる。

(委員)

チームオレンジの推進について、もう少し具体的に教えて欲しい。

(団体)

チームオレンジとは認知症当事者とその家族を支える仕組みだと理解している。横浜市では令和4年度からモデル実施していたが、令和7年度からは本格実施となっている。認知症になってからも地域との繋がりを通してやりたいことをやり、自分らしく生きていくことが大切であり、そのためにも地域の方には認知症の捉え方を変えていただくことも大切だと思っている。

(委員)

エレベーターがついていない団地への対応について、何か考えているか。

(団体)

まだ有効策は考えられていないが、加齢による体力の低下などが1つの要因になっていると思うので、介護予防やフレイル予防を通して健康を増進していきたい。ハード面については、引き続き関係各所と協議していきたい。

(委員)

社会資源の活用、なければ創出するという話があったが何かビジョンがあるか。

(団体)

最近の相談傾向として、要支援1、2の方に関することが多い。公園へ行きたい、家事を手伝ってほしいという話が多いが、エリアではケアマネジャーが足りていない。そういった中で民間企業と連携して生活支援をしたり、ボランティアにてお手伝いをしたりしている。今後の資源創出については、移動の部分に課題があるので、近隣の地域ケアプラザや区役所とも連携しながら進めていきたいと思っている。

(委員)

人材育成の考えについて、教えてほしい。

(団体)

職員の定着率なども含めて非常に大切なことだと考えている。当団体では人材

育成計画を策定しており、それぞれの職位、部門に応じた計画に基づいて実施している。また人事考課制度として、3回の面談を通して目指していく人材像を明確にしている。

4 指定候補者及び次点候補者の決定

(1) 横浜市泥亀地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	1,293／1,675 点	1,219／915 点
次点候補者	医療法人社団 景翠会	1,182／1,600 点	1,152／915 点

(2) 横浜市西金沢地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 昂	1,222／1,625 点	1,178／885 点
次点候補者	なし		

(3) 横浜市並木地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	991／1,340 点	950／732 点
次点候補者	なし		

応募団体の得点は、いずれも最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人横浜市福祉サービス協会他を指定候補者及び次点候補者として選定することを決定する。

5 指定候補者及び次点候補者の審査講評

(1) 横浜市泥亀地域ケアプラザ

ア 指定候補者（社会福祉法人横浜市福祉サービス協会）

- ・隣の八景小学校とは既に連携をされていて素晴らしいが、中学校とはまだ連携をしていないとのことだったので、これからは中学校との連携を望む。

イ 次点候補者（医療法人社団 景翠会）

	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションや資料からニーズが分析されていることや志の高さは伝わってきた。 <p>(2) 横浜市西金沢地域ケアプラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「だれでも〇〇〇」というビジョンが素晴らしい。見守りホルダーも今後は地域在住の高齢者に限らず、利用を希望される方に登録していただける仕組みを考えていることもよかった。ボッチャもそうだが、年代を問わずに多世代との交流のビジョンが素晴らしいので、ぜひ続けていただきたい。 ・広報が紙ベースで計画されているようだった。せっかく良い取組をされているので、多様な方法で広報をすることで、より利用者が増えると思うので検討していただきたい。 <p>(3) 横浜市並木地域ケアプラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内にエレベーターがついていない団地もあると思うので、高齢化の背景を踏まえた住環境の整備について、行政とも連携し検討をしていただきたい。 <p><u>6 今後のスケジュール</u></p> <p>選定結果の通知時期などを確認した。</p>
資料・特記事項	<p>【資料1】 横浜市金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会委員名簿</p> <p>【資料2】 横浜市金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会の評価基準及び審査方法について</p> <p>【資料3】 前期の指定管理業務の実績報告書</p> <p>【資料4】 財務分析結果報告書</p>